

平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 株式会社G&U技術研究センター	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 試験検査部 平山 明彦 電話 049-299-1028 FAX049-299-1026 a-hirayama@gucenter.co.jp
代表者氏名 代表取締役 中川 幸男	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 (2) 広報部門 ②企業・団体広報部門	事例名 見学会や技術広報誌発刊などによる下水道管路施設の理解向上と適切な維持管理の必要性を啓発
-------------------------------	--

弊社は、マンホール蓋の試験研究機関として設立されました。蓋業界全体の技術の向上を目指すと共に、一般市民に対して、下水道への理解を深めるための情報伝達に努力しています。蓋の試験を間近に観ることにより、マンホール蓋にどのような問題があるのか、それをどう解決しようとしているのかが視覚的に理解できます。更に、模型、説明用パネル、解説書により理解を深められるよう工夫しております。

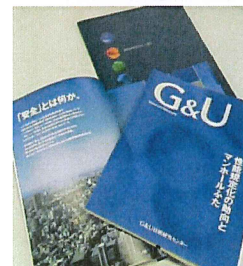
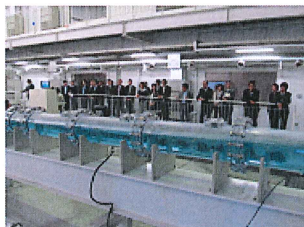
来場者は、月2回の定例見学会（無料、一般市民可）の他、自治体からの見学申込など毎月多数を受入れております。

マンホールの存在感を高めるために、マンホールの博物誌（ダイヤモンド社）の出版や、技術的な話題を、多角的にやさしく解説する技術広報誌を発行（年1回）しています。

また、集中豪雨時の内水氾濫やマンホールの浮上問題について、NHKや民放各社の報道に協力や、一般市民向けとして、NP021世紀水倶楽部と共催で、下水道を理解してもらうためのセミナーを毎年開催しており、その講演集を作成し配布（無料）しております。

＜これまでの見学会への来場者＞

来場者数	約4000人
官公庁	約350人
自治体	約1800人
下水道事業団の研修見学	約650人
市民・学生	約100人
海外からの研修・見学	約50人
その他（民間企業/団体）	約1100人



エントリー事例の特徴（下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など）

- ・見学では、集中豪雨の増加や車両の大型化・増加などの側面から下水道管きよに新たな性能が必要なことを、水理モデルや輪荷重試験機などを使って体感できること。
- ・下水道施設の老朽化が引起す問題や事故を防ぎ、これからも安心して下水道を利用できるように、施設の適切な維持管理が必要なことを、技術広報誌や見学会を通じて情報発信していること。